

謹賀新年・今年こそ閉塞状況から脱出したい

不況、大不況と日本人のほとんどが嘆いていますが、本当に大不況でしょうか。私は1ヶ月に1度北海道に広葉樹原木の買い付けで出張する機会があります。その時ホテルの大浴場でお湯に浸かるのですが、同姓の裸を見る機会があります。見たら殆どの日本人はやせている人は全くいません。私の随分昔の記憶を遡ると凄くやせた方も多くいたと思います。しかしメタボ等の成人病は凄く大勢いますが、栄養失調等の方々は全く目にしなくなりました。

肉体的には凄く恵まれた状況にも拘わらず、大不況と言われますが、本当は不況ではなく閉塞状況ではないかと思えます。不況だから閉塞状況に陥るとは限っていないと思えますし、多分違うと思えます。

閉塞状況とは、国民の大多数が希望より大きな不安を感じているのが多い証拠であって何も不況だから閉塞感が有るのではないかと私は思います。

昨年 NHK の大河ドラマ龍馬伝を私は一年を通して見ましたが、当時も閉塞感は有ったと思えます。今と同じ位の閉塞感は有ったと思えます。日本を取り巻く状況は現在と似たり寄ったりではなかったかと思えます。欧米列強の対日本国に対するプレッシャーに日本国は政治体制を一掃することによって対処して乗り切ったのではないのでしょうか。日本人には知恵と決断が有ったのです。

現在の日本人と当時の日本人を私流に比較すると現在の方が1人1人は凄く勤勉で真面目で素晴らしい日本人が多く存在していると思えますが、合成の誤謬に陥っているのではと思えます。合成の誤謬とは例えば国会議員を見たとき1人1人の人格・見識・知恵等は素晴らしい才能を持っているのに全体として機能しない事を意味しているのだと思えます。何故そう言う合成の誤謬に日本全体が陥ったかは、私は解かりませんが、何としても閉塞感が少ない大きな希望が多く有る社会にする事こそ、若者達への我々大人の責務で有ると思えます。

ところで北海道の住いの作り方は隣との間隔を空けることが求められていますが、昔は隣との間隔は十二分にとって有りました。しかし現在の隣との間隔は昔ほど取っていません。と先月北海道に出張したときタクシーのドライバーから『住宅を誘致する土地が有りました。先に家を建てた人は庭等を大きく取りたい為に家を少し境界に近い所に建てました。次に住宅を建てたい方が来られ同じ様にしました。夏場だったので何のトラブルも無かったのですが、冬になりその年は大雪でした。その為に屋根から雪降ろしをしましたが、隣との間隔が狭いために雪の除雪のいざかいが起こりました。昔はこんな事恥ずかしい話は無かったのですが、現在の旭川市内はこの様な有様です。そう言う事を知っている新しく家を建てる方は旭川市内から少し離れた東旭川等に家を建てるようになってしまいました。しかし職場は旭川市内に有り、そこで稼いだお金を旭川市内で落としてくれないために我々旭川市内のタクシードライバーも報われていません』聞きました。

土地が広く価格が安いのが北海道です。そんな北海道でもこんな問題が生じているのです。現在の法律が正しいのか間違っているのかを私は解かりません。しかし法律とはそこで暮す人々が一年を通じて普通に暮すことが出来るように整備する事が目的で有ると思えます。

閉塞感を抜け出すのは大変難しい事だと思えます。一つの事をすれば無くなるような状況ではないと思えます。しかし日本人1人1人が法律に抵触していないから良いとは考えずに、住い作りで言えば、お世話になる町から見て住いの設計はこうではいけないと言う意識を持ってもらえる社会に変えることから始めなければ何時まで経っても希望の有る社会にはならないと思えます。

現在の閉塞状況を少しでも減らし若者が多くの希望を持てる世の中に変えるには、極当たり前の事をする以外に無いと思えます。建築士さんなら建築士さんが精一杯出来る事を、材木屋なら材木屋が当たり前の仕事を、工務店さんなら工務店さんが当たり前の仕事を、それ以外には無いと思えます。

国民全体から我々木材に関係する材木屋のみならず、家具作り・住まい作り・あらゆる職業をしている方々が何時も見られていると意識しプロ意識を持って全ての事柄に対処し、そしてそれを若者から見たいと思う時、見られるような場所・機会を提供したりして、その職業の誇りを見せる事で、憧れの目で見られる様になり希望が叶えられる夢の有る日本に変ると私は思います。

2011年の展望

木材を扱っている方は現在原料不足感を少しは感じていると思いますが、小生は2年前の春位から感じていました。そして去年ですが材料不足の兆候は現れ始めました。一番初めに材料不足感を感じたのは米材針葉樹のアラスカ産スプルース原木でした。2年前の仕入先との世間話の中で『日本国内は弱すぎて日本人の言う原料は集められません』こう言う風に言われたのですが、その時は深く考えていませんでした。しかし3年前のスプルース原木の入荷量は2年前に比較すると私の感じでは約15～20%入荷減でした。そして去年は前年に比較して半分以下の40%位の入荷量に激減しました。今年は恐らく昨年の3分の2位の数量になると予想します。3年間で大よそ3分の1に入荷が減った事になります。

広葉樹原木のお話をすると2011年は恐らく昨年と比較して最低25%ダウン下手をすれば半減の可能性も有ると思います。国内産の広葉樹原木のうち北海道産広葉樹と北海道に入荷するロシア産中国産広葉樹原木の事しか私は解かりませんが最低約25%の生産量の減少、下手したら半減と言う樹種も出てくると思います。

アメリカ産広葉樹とヨーロッパ産広葉樹の事は余り解かりませんが、アメリカ産広葉樹製材品が北海道産広葉樹及びロシア中国産広葉樹の減った量を穴埋めが決して出来る物では有りません。何故かと言うとアメリカ産広葉樹製材品はあくまで家具材主体の製品構成になっています。国内で製造したアメリカ広葉樹製材品を使った内装のフローリングは供給が可能ですが中国製のユニタイプの格安のフローリングと較べると全く価格競争力が有りません。

又ロシア産広葉樹のタモ・ナラの値段が上がっているのでアメリカ産広葉樹を使った内装に使ったら良いと思われるかも知れませんが、見積もりを頂いても見積もりが非常にしにくいのが現実です。

国内で製材したナラ・タモなら厚み・長さ・仕様(柾目・板目)はきっちりしております。基本は無節の板です。無節の板ならどの板でどのサイズの木取り材を使えば良いと解かります。と言う事は対施主様にはっきりした木材価格の提示が可能な訳ですが、アメリカ広葉樹製材品は長材が少ないし有っても縦ゾリが有り長い用途の場合使いくいし又無節の板が少なく、目切れも有り、柾目・板目と普通は使い方が有るのですが、言うなれば形の有るだけの見積もりしか出来ないのです。形とは長さ・巾・厚みが解かるだけで無節なのか、板目なのか、柾目なのか全く解からない見積もりしか出来ないのです。

特にこだわりを持って住いの設計をされる建築士さんが内装に無垢の造作材を使いたい時、用途は額縁・窓枠・巾木・周り縁・ケーシングと色々と有ると思いますがそれだけではないと思います。住まれるお施主様の為に色々なコーディネートも合わせて設計されると思います。例えば階段部材・カウンター・テーブルがその類の商品になると思いますが、これらの商品を適正な価格そして丁寧な作りで納めようとしたら国内で製材した商材を使わずには事実上設計は不可能だと小生は思います。

無垢を多く使える建築個数も低レベルで多分推移すると思います。それ以上に木材の供給は難しくなると予想されます。

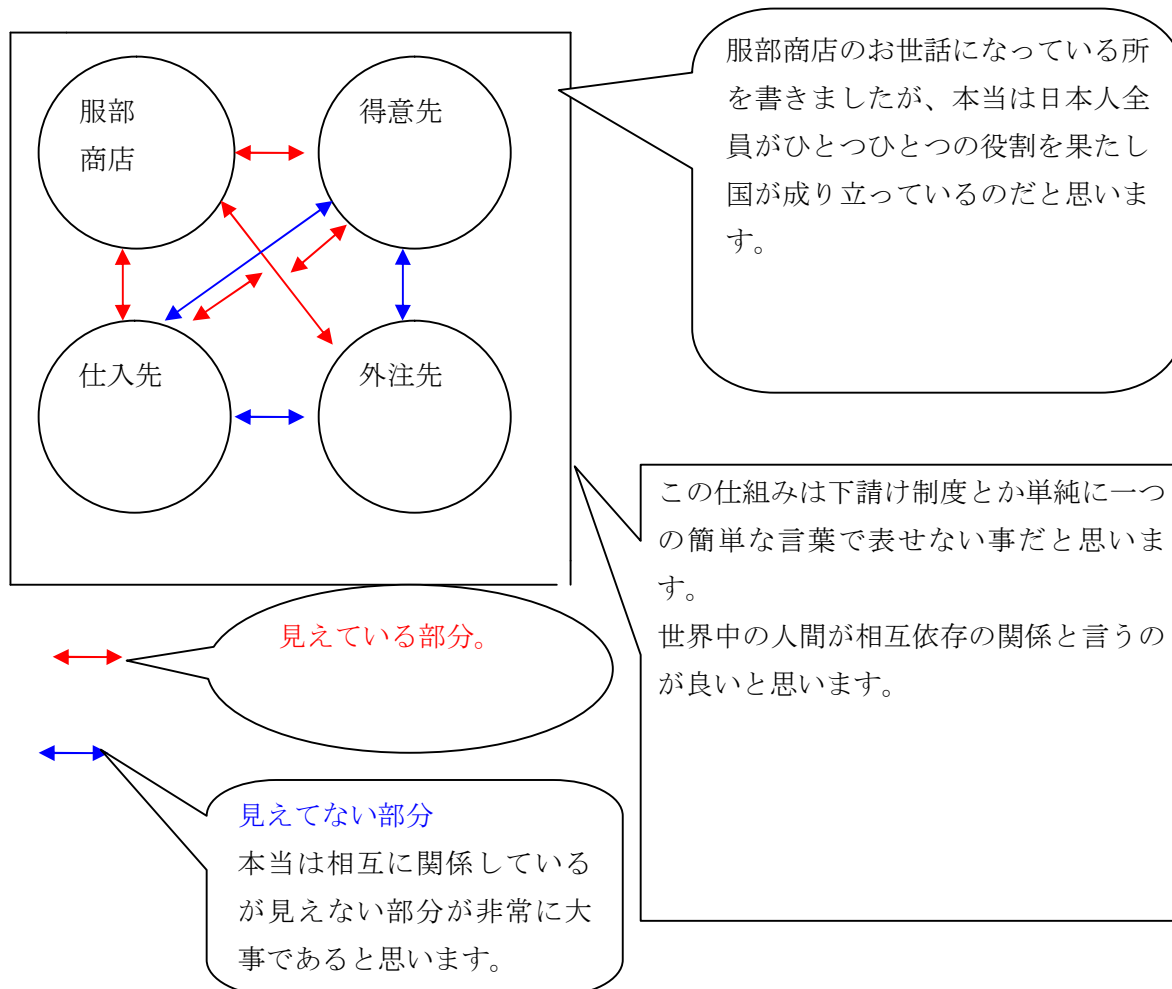
しかし経済が不況で日本人の心の閉塞状況が続き、良い木材の供給が難しくなる状況でも、今月号の最後の記事に書いて有りますが、『達成出来れば嬉しい今年の夢・目標』を何とか実行に移せれば、色んなアイデアが浮かぶ様に思います。そのアイデアはプロの材木屋が予想しないことかも知れません。しかしこのまま手をこまねいていても、閉塞状況の打開は出来ないと思いますしこの方法『材木屋が考える本当の無垢を多く使う住い作り』が我々材木屋の本懐『目利き技術・仕訳け技術』で有り。それを発揮するのが今年の最大目標です。

今年の服部新聞は木材の本当の話『木材業界の専門誌に掲載されていない供給サイドの話・入荷情報』を服部新聞で出来るだけ多く取り上げようと思っています。

日本人の心

売る事と買う事は何も変わりの無い事柄ですが、お客様に買っていただきました。と言う聞こえの方がお客様に売りました。と言うより何か自然な聞こえとは思いませんか。仕入先から無理難題を言われても分けて頂きましたと言う方が余程聞こえが良いと私は思いますし、それが日本人の心ではないかと思えます。

私は服部商店の経営者ですが、近頃弊社がお世話になっている、仕入先・外注先・得意先と服部商店の扱い商品が鎖の様な物で結びついているのではと思っています。



服部商店は零細な材木屋です。そして木材以外の事は全く知らない社長が服部新聞を書いている小生ですが、皆様のお陰で商いをさせて頂いています。本当に感謝申し上げます。

商いは山も有り谷も有ります。多く商品を買って頂いた時も有ればそうでない時も有ります。しかし日本国全体で経済活動をしたりして、相互依存関係にあるのだから当然山が有れば谷もある筈です。しかし忘れてはいけないのは、日本人の心だと思います。その心が発揮されるのがコミュニティだと思います。

昔は世話好きのおばちゃんが出て、あの男性とあの女性は一緒にならないのかなーとか言ってお世話をしたものと私の母から聞いていますが、そう言うのが最近は何も無くなったと思います。何故無くなったのでしょうか。それは上のチャートで書きましたが、日本人全員が見えている部分だけを意識して生活をしているせいではないかと思えます。もし見えていないところを無意識でも意識して生活していたら、お客様が商品を購入して頂いたとき、日本人の口から出る言葉は『売った』ではなく『買って頂いた』になると思えます。

世界中は相互依存の関係を益々強めると思えます。民族の歴史が違うために、日本人の意思を相手に伝えるのは難しいと思えますが、日本人と他民族の政治的交渉等の難しい専門知識の必要な事柄は官僚と政治家に任せ、日本の民間人特に若人は積極的に海外に出て世界中の人々と関係を持ち日本人の心を広めて欲しいと思えます。

日本人の心こそ世界に貢献出来る心だと自信を持って友好関係を築ければ閉塞状況を脱する手段だと思います。

達成出来れば嬉しい今年の夢と目標『新しい住い作りの仕組みを作りたい』

本物の木の家を建てたい施主様とそれを設計する建築士さんと、小生で本当のコラボレーションが出来れば嬉しく思います。具体的には

- 1、構造材等の直接見えない材の選定を日本で一番大きな木材市場で材木屋・建築士・施主と3人で行いたい。勿論使用構造材は国産材です。
- 2、無垢の造作材をふんだんに使い好み別に選んで頂く。
 - A,玄関周りは日本人の気風（しっ所）に合わせたタモ材の造作とタモ材の上がり框を使用したい。
 - B,ご主人の書斎は高級感の有るブラックウオールナット材の造作材とブラックウオールナット材のフローリングを使いたい。
 - C,奥様の部屋は表情が優しいアガチス材の造作材とレッドオークのフローリングを使いたい。
 - D,子供部屋は少し柔らかいイメージが有り足の裏の感触が良いアルダー材と造作材はスプルース材を使いたい。
 - E,風呂周りの造作は水に強い米ヒバを使いたい。
 - F,リビング及びお客様がお見えになる部屋はナラの造作材に清潔感を感じる白いハードメープルのフローリングを使いたい。
 - G,天井は全ての部屋に無垢アガチス材の天井板を使いたい
 - H,廊下の床は赤身が少し入るが、最も自然感を醸し出すアッシュ材のフローリングにタモの腰板を使いたい。
- 3、キッチン・作り付けの家具も製作して頂く木工メーカーも選ぶ。この場合決して価格優先にしない。何社かをお呼びし材木屋・建築士の推薦するメーカーに施主の前で木工メーカーにプレゼンテーションをしていただき選択してもらう。
- 4、建具も材料選びから製作を依頼するメーカーも3、と同様にしたい。
- 5、住いに関係するあらゆる木製品『テーブル・お盆等生活関連商品を含めて』も一品物が出来る範囲の中で、それを利用したい。家具作り・小物作りをしているクラフトマン達に声を掛けて、彼らの何人かに来ていただき施主・建築士・材木屋の前でプレゼンテーションをして頂き決める。
- 6、使用木材は必ずしも服部商店の材を優先しない、他社と合い見積もりを取り、価格・品質を施主・建築士・材木屋に見てもらい良い商品を選択していただく。
- 7、1～6の項目を建築士さんと一緒に考え汗をかき、それを何社かの工務店に提示し新しい住いの作り方を是非実践したいと思います。

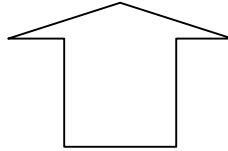
木材価格はこれから益々、並材等の一般材は別にして決して価格が下がる事は無いと思います。その事を織り込んで考えると、如何に高く買い、如何に安く施主に提供出来る仕組みを構築出来るかが、大事な仕事だと考えます。しかも日本人の雇用に繋がる新しい住い作りの仕組みを作る以外に今の閉塞状況を打ち破る事は不可能だと思います。

上記の2のA～Hの項目は住いの設計とは生活する方が安らぎを感じ、癒しを感じるようにするのが設計の理念だと思います。その為にその部屋を利用する住人に合わせた設計をするのは極当たり前の事だと小生は考えます。ここの所は考え方が全く違う方も多くいらっしゃると思いますが、建築士さんにも色々な樹種を使う事で将来の設計に結びつくような気がします。

この企画につきまして建築士さんに御願い致します。是非一緒にしたいと思う方のご連絡をお待ちしています。この企画は施主様と直接対面している建築士さんに仕事が無ければ成立しません。

別紙アンケートを添付します。宜しくお返事頂けるよう御願い致します。

FAX 072-422-8577



『 新しい住い作りの仕組みを作りたい 』
アンケートの御願い

1、 『新しい住い作りの仕組みを作りたい』 の企画は面白い。

はい

いいえ

2、 はいのお答えのお客様にお答えを願います。無垢を多く使いたい施主様がいらっしゃった時一度服部の話を具体的に聞いても良い

はい

いいえ

会社名	
代表者名	
〒及び住所	
電話番号	
FAX 番号	

(株) 服部商店

〒 596-0011

大阪府岸和田市木材町16-1

TEL072-438-0173・0511

服部 雅章

謹賀新年 平成 23 年



- 南方 二人の息子にも彼女ができて、家の中がとても明るく笑いが絶えないです
- 小西 去年不幸にも父2人を亡くしてしまいました
今年家族が何事もなく幸せに過ごす事を願います
- 北川 今年は大工の量を減そうと思っております。
- 服部 子供達に希望の毎日本にす様な努力をしたいと思っております。
- 熊代 今年こそ禁煙します。
- 上野 時流と共にプラス志向で暮らしたい。
- 柏原 入社して12年。まだまだ頑張ります。